

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 薬事衛生課長 柳 俊徳 電話番号 0852-22-5257

事務事業の名称		結核予防対策推進事業	
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	結核のまん延防止を図る	
事業概要	島根県結核対策推進計画に基づき、「早期発見の推進」、「定期健康診断の受診率・予防接種の接種率の向上」、「病院や施設内での集団感染対策」を重点施策とし、結核対策の推進を図っている。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	結核罹患患者（人口10万人対）	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	人
			取組目標値					
	式・定義	新規結核患者数/県人口×100,000	実績値	14.7				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	29,768	39,552
うち一般財源 (千円)	15,648	20,813

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

結核罹患率を平成27年までに15.0人以下とする目標を掲げて事業を行ってきたが、平成26年(13.6)、27年(14.7)と2年連続で罹患率が15.0以下となり、目標値を達成できた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

結核の罹患数が減少した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
集団感染が発生すれば患者数が大幅に増加することも考えられる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
高齢者施設を中心として施設内での患者発生リスクが常にある。また、外国人就労者の患者発生も問題である。
- ③原因を解消するための「課題」
施設内の感染拡大防止対策を普及啓発することが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

現在の島根県結核対策推進計画は平成28年度に改正する予定であるため、今後の対策の方向性を含め計画を作成する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）